

特色ある認定こども園の運営にかかる支援について

【担当省庁】 こども家庭庁

山添村における取組

<現状>

令和6年4月開園を目標に、認定こども園建設計画を進めています。現在3園ある保育園を1つに統合することによって、園児数が増え年齢別保育と異年齢交流の特性をいかした保育が充実し、施設の環境面においての整備、保育士の効果的な配置、自園給食の実施などが実現可能となっています。

新しいこども園では、以下の4つの重点施策を効果的に推進するため、従来のこども園としての保育をする機能に加えて、子育て支援拠点として広く子育て家庭や地域、時には村外からも人が集まる場所として開かれた存在となり、自らコミュニティを生み出す「学び・体験・ふれあい」の拠点をめざしています。その体制整備のため、令和4年度から、保育の質を高めるため、保育士の資質向上と新しい保育・教育の在り方について学びを深めるとともに、こども園開園に向けての運営準備をしているところです。

<こども園整備における4つ重点施策>

元気で、夢や生きがいをもって、安心して暮らせる村づくりをめざして

「保育と教育」...保・小・中と連携した山添村ならではの教育を実践し、自分で考え行動できる力やいろんなことにチャレンジする意欲とシビックプライドを育む。

「子育て支援」...地域や関係諸機関と連携を図りながら、子どもたちの健やかな育ちを実現できるよう、地域の子育て家庭を支援する。

「若者定住」...今住んでいる子育て世代が安心して暮らし働ける環境づくりと、さらには、移住定住につながる村の魅力を発信する。

「地域活性」...世代間交流を深める場として、多世代に親しみを持ってもらって子どもたちの育ちを見守ってもらうことで、お互いの元気の源を創出する。

<課題>

1.山添村ならではの特色をいかした保育と教育を実践・充実するにあたり、保育士の資質向上並びに、専門講師等の人材確保

2.特色あるカリキュラム（英語教育・体操・アート・自然体験・木育・食育（給食含む）など）の構築並びに実践するにあたっての財源確保

国にお願いすること

1.保育士の資質向上につながる取組

質の高い人材育成をしていく観点から、チームビルディングや人的環境構成に力を入れ、非認知力を伸ばす子ども主体の保育を実践していきたいと考えています。村独自で研修等を企画運営していくための財源にかかる補助制度の拡充をお願いします。

2.子どもたちの成長を支える環境づくり

あそびを通じた幅広い学びや専門講師・地域の人材との協働による文化体験活動などを継続して実践していきたいと考えています。その財源として、人件費やボランティア保険、環境整備や実習材料費等にかかる補助制度の拡充や、専門講師等の人材確保について有識者や大学・企業等とのマッチングなどご支援をお願いします。

3.自園給食を開始するにあたって地場産物の活用や郷土の食文化を積極的に取り入れた給食の提供や、地域交流を図りながら食育体験の充実を図るためにかかる経費について、補助制度の拡充をお願いします。（例えば、給食での地場産物の使用頻度や割合に応じて補助率をあげていただくなど。）

【担当部署】 山添村保健福祉課